



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

第114号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

2011年

9月発行

しん ぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 3400円

日曜版1ヶ月 800円

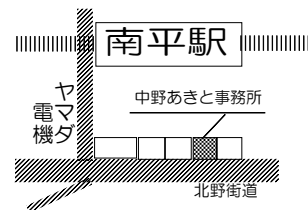
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



豊田駅南地域のまちづくり

住みよい環境をもとめて住民が運動

区画整理事業が進んでいる豊田駅南地域に、住民生活やまちづくりに大きな影響を与える、いくつかのマンション計画が発表されています。

中央図書館下マンション

造成中の、万願寺から八王子へ通じる国道予定地の北側沿道に、10階建て135戸の分譲マンション建設事業が発表されたのが、昨年の12月8月23日の説明会では8階建て12戸+1店舗に計画が変更されました。建設予定地は、日野市まちづくりマスタープラン 基本計画で、「低層住宅」「緑豊かで街並みの整った低・中層住宅」と定められた区域にまたがっており計画はマスタープランに適合しているとはいえませんが、まちづくり条例では「事業はマスタープランに適合しなければならぬ」と定められていることから、「低・中層 五階建てまで」の住宅への見直しを事業者が求め「事業は条例に違反しているので適切な指導を」と日野市に求める運動が、周辺住民によって進められています。

駅前高層マンション

平成13年に建設されたマンションの向かい側に、17階建ての賃貸マンション建設計画が今年6月に浮上。「高さを下げて」との住民要望にいったんは15階建てに変更したものの「大幅に採算が悪化する」と建築主は建設強行の構えです。住民は、「隣には5階建てでも経営されている賃貸マンションがある」、「今後も高層ビル建設が懸念され景観が壊される」、「多摩丘陵を望む駅前空間をつくる」と定められたマスタープランに反する」と、事業の見直しを求めて運動が進められています。

右側の建物が平成13年に建設されたマンション
左側建物が今回計画されている高層マンションの計画図



放射線測定できます

共産党市議団は放射線測定器を備えました。

- 測定してほしい場所を連絡ください。
 - 貸し出し可能です。（操作は簡単）
- ご希望の方は中野事務所まで連絡をお願いします。

- ・測定放射線：ガンマ線
- ・水や食品の放射線は測定できません
- ・ハンディタイプ



中央図書館下マンション

写真はいずれも業者提示の計画図（当初の計画）をもとに作製した模型と、背景写真を合成したもの。

短信

集中豪雨の梅雨、頻発する竜巻、酷暑の夏。日本の気象から程よさが消えている。お天気

が極端なら政治も同様だ。「賛成か反対か」○か×か情報隠れ、いし異論は排除する。原発の「安全神話」も、小泉さんの「郵政改革」も、こんな手法で一方的結論が押し付けられてきた▼原発事故の中で迎えた原水爆禁止大会。核兵器の廃絶を願う人も、原発への意見は一つではない。日本共産党志位委員長は挨拶で、「核兵器のない世界を目指す運動と原発ゼロを目指す運動。一致点はそれぞれですが、この二つの運動には共鳴し合う大きな接点がある」「それはどんな形であれ、核による被害者をこれ以上出してはならないということですよ」と訴えた▼世界大会は「核兵器廃絶」を目指す具体的な行動を中心に据えながら「原発からの撤退」を目指す運動に連帯を表明し成功裏に閉幕した。違いに目を向けるのではなく共有すべき目標を見出す努力。こんな英知持ちを寄国づくりもすめたい▼前線の南下で酷暑は一息だが残暑がぶり返す気配か。せめてこの号がお手元に届く頃は、さわやかな初秋であってほしい。(K)

画期的な原水爆禁止世界大会に

親子で参加してきました 中野あきと



五年ぶりに、先月行われた原水禁世界大会の「長崎大会」に参加してきました。「平和」の尊さや「核兵器をなくす運動」の重要性は参加する度に受けることですが、今回はそれだけでなく、ものすごい運動の広がりやエネルギーを感じとれました。まず、何といっても若い人々の参加の多さです。これだけ若い担い手が広がっている運動はそうは無いでしょう。

世界の中にこの運動が、大きく広がっていることも衝撃でした。潘基文国連事務総長がメッセージを寄せただけでなく、ドナルド・トランプ大統領が参加し、取り組んでいる署名を10月の国

連総会の折に展示することを約束してくれました。これはすごいことなのですが、日本の大手マスメディアが報道を行わないために国民にあまり知られていないのが残念です。

また、「原発問題」にどう向き合うのかも今年の大会の課題でした。概要は本号一面「短信」欄でふれていますが、それぞれの運動の関係が「連帯」というスタンスできちんと整理されました。

今回は、小5、小3の二人の子供との参加でした。戦時食のすいとんを食べ「少年少女のつどい」にも参加。「来年もまた来たい」が二人の感想でした。

災害救援ボランティアで

宮城県石巻市へ

8月20日から23日まで、日本共産党「地震・津波災害ボランティア」に参加した、南平6丁目の主婦Tさんの報告です。

初日に宮城県南三陸町を見て、すべてを津波にさらわれた町の姿に心が痛みました。自宅跡の小さな小屋で「海苔屋」を再開したおばさん一家は全員無事だったとのこと。51年前の「チリ地震津波」避難経験が生きたそうです。

次の日から2日間、参加した仲間と共に「汚泥片づけ隊」として仕事をしました。大きな寺の周囲の

側溝のガレキとヘドロを上げて土嚢（のう）に詰めて路肩に置くのです。深くて大きい側溝は、ガラス類や危険物がヘドロで固められて詰まっています。少しづつ壊しながら入念にスコップですくい上げていくと溝の泥が流れ始めます。一どきれいにするのに一時間も要することもありました。雨も強く降っていてみんな泥んこになりました。雨も強く降っていました。お昼になって寺の境内で手を洗いましたが、親鸞聖人の像が横倒しになっていて、枕元を土足で通るときは申し訳なく思いました。やっと腰を下ろす場所を見つけてみんなで渡辺さん（宿を提供してくれた人）が作ったおにぎりを食べました。そのおい

しかったことは忘れません。皆さん。ボランティアに行かせて頂いてありがとうございました。

◇◇ミニ・ニュース◇◇

■北野街道イゲタヤ前右折矢印信号について

利用者からの要望を受けて中野あきと議員は、市の担当課などに要望を届け、改善を求めています。

担当課からは①右折レーンを延長する②信号機の改善は、今後、動向調査検証作業を行うので、その結果も踏まえて対応していきたい。との方向性が示されています。

■ミニバス南平路線に関する請願について

南平地域の住民から出されたミニバス南平路線の改善と新設についての請願は、今年3月の市議会で全会一致で採択されましたが、市営向川原住宅（南平5丁目）やその周辺住民からも路線改善に関する請願が提出される動きもあります。日野市では、無作為に選んだ市民4000人のアンケート調査をなども行い検討するとしています。

《11年10月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

10月 13日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。

9月市議会一般質問

中野あきと

違法生コン工場問題 移転用地確保の期限が迫る

20年以上放置され、騒音、振動、粉じん被害に周辺住民が悩まされてきた平山6丁目の違法生コン工場問題は、いよいよ正念場を迎えています。生コン事業者は昨年9月に、市に是正計画書を提出し、来年6月30日までに業務を完全停止することを約束しました。しかし、現在に至るまで、移転に必要な用地確保の見通しが立っているとは言えない状況です。

工場の移転には用地確保後7か月を要すると市も認めており、今年の11月末日のその期限が迫っています。市長の判断・対応が問われるところです。

私は9月議会一般質問で、次の点をたずねます。

- ①移転に向けた事業者の取組は。事業者の姿勢を市はどう判断しているのか。
- ②住民への説明や対応はどうなっているのか。
- ③移転が不可能になって以降も、違法状態の操業を認めるのか。市長の見解は。

＊市の回答、質問の結果は次号でお知らせします。